

2015年第2四半期 連結決算概要 (IFRS)

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 CFO
板谷 嘉夫

2015.7.23/24



将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注:本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算



2015年第2四半期 連結決算概要

- 売上収益 2,402億円(前年同期比 +182億円,+8.2%)
 - 国内製商品(タミフルを除く):主力品や新製品の順調な成長により増加
(同 +138億円,+8.3%)
 - 海外製商品:円安及び数量増によるアクテムラ輸出の増加(同 +111億円,+31.1%)
 - ロイヤルティ及びその他の営業収入:前年のマイルストーン収入等計上の影響
(同 ▲64億円,▲46.0%)

- 原価・経費(Coreベース)
 - 売上原価:円安を主要因とし製商品原価率が悪化(+1.0%ポイント:49.1%→50.1%)
 - 経費:研究開発費および一般管理費等を中心に経費全体で15億円,2.0%の増加

- 損益
 - IFRS実績:

営業利益	432億円(同 +1億円,+0.2%)
四半期利益	308億円(同 +14億円,+4.8%)
 - Core実績:

営業利益	459億円(同 +22億円,+5.0%)
EPS	58.30円(同 +4.64円,+8.6%)

IFRS実績及びCore実績 1-6月実績



【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
	2015年 1-6月	無形資産・ 合併会計	その他の 除外事項	2015年 1-6月
売上収益	2,402			2,402
製商品売上高	2,326			2,326
ロイヤルティ及び その他の営業収入	75			75
売上原価	▲ 1,172	+7		▲ 1,166
売上総利益	1,229	+7		1,236
経費計	▲ 797	+19	+1	▲ 777
販売費	▲ 347	+1		▲ 346
研究開発費	▲ 392	+18	+0	▲ 373
一般管理費等	▲ 59		+1	▲ 58
営業利益	432	+26	+1	459
金融費用	▲ 0			▲ 0
その他の金融収入(支出)	7			7
税引前四半期利益	439	+26	+1	465
法人所得税	▲ 131	▲ 9	▲ 0	▲ 140
四半期利益	308	+17	+1	325
当社の株主持分	301	+17	+1	319
非支配持分	7			7

Non-Core 調整

1. 無形資産・合併会計

無形資産の償却費	: +8億円
無形資産の減損損失 合併会計	: +18億円 : 該当なし

2. その他の除外事項

環境対策費用	: +1億円
--------	--------

Core四半期利益の帰属

当社の株主持分	319 億円	Ⓐ
---------	--------	---

希薄化効果後

加重平均普通株式数	547 百万株	Ⓑ
-----------	---------	---

Core EPS	58.30 円	Ⓐ/Ⓑ
----------	---------	-----

前年同期比 Core

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために

損益の概要 1-6月実績



【億円】	2014年1-6月		2015年1-6月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	2,220		2,402		+182	+8.2%
製商品売上高	2,081		2,326		+245	+11.8%
タミフルを除く	2,010		2,259		+249	+12.4%
国内	1,653		1,791		+138	+8.3%
ロシュ向け輸出	263		372		+109	+41.4%
その他海外	95		96		+1	+1.1%
タミフル	71		67		▲4	▲5.6%
通常	70		67		▲3	▲4.3%
行政備蓄等	1		0		▲1	▲100.0%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	139		75		▲64	▲46.0%
売上原価	▲ 1,021	46.0%	▲ 1,166	48.5%	▲145	+14.2%
売上総利益	1,199	54.0%	1,236	51.5%	+37	+3.1%
経費計	▲ 762	34.3%	▲ 777	32.3%	▲15	+2.0%
営業利益	437	19.7%	459	19.1%	+22	+5.0%
金融費用	▲ 0		▲ 0		0	0.0%
その他の金融収入(支出)	3		7		+4	+133.3%
法人所得税	▲ 142		▲ 140		+2	▲1.4%
四半期利益	298	13.4%	325	13.5%	+27	+9.1%
EPS (円)	53.66		58.30		+4.64	+8.6%

【主な増減】

ロイヤルティ及びその他の営業収入	▲64億円
マイルストーン収入の減少等	
その他の金融収入(支出)	+4億円
為替差損益	▲20億円
デリバティブ(為替予約)損益	+24億円

製商品原価率

2014年1-6月	2015年1-6月
49.1%	50.1%

期中平均レート

	2014年 1-6月	2015年 1-6月
1CHF	115.04円	126.88円
1EUR	140.51円	134.27円
1USD	102.49円	120.24円
1SGD	81.29円	89.10円

前年同期比

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



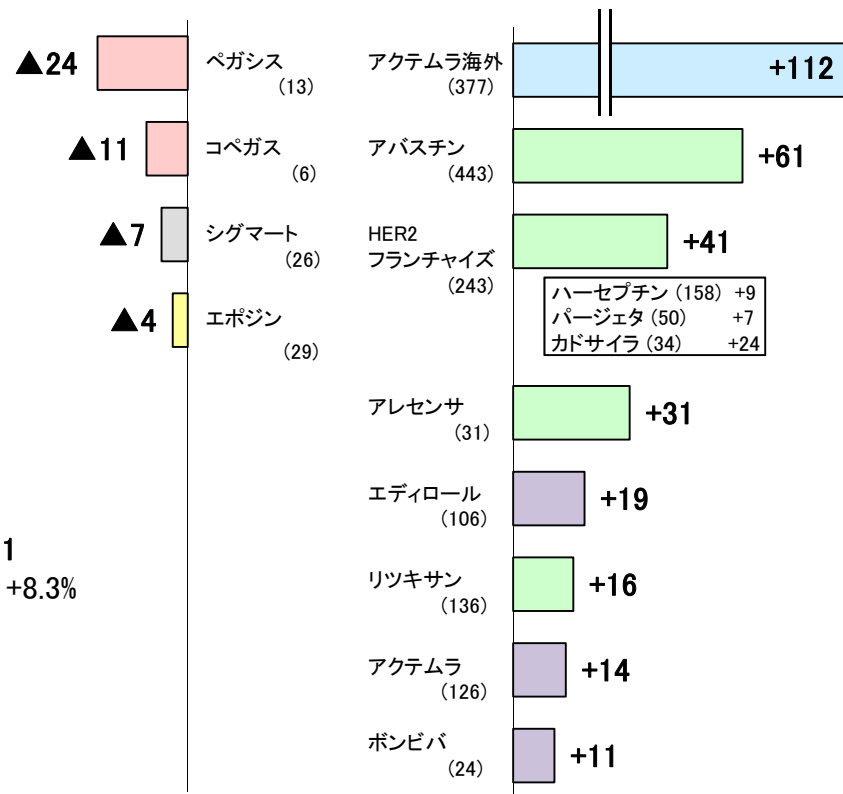
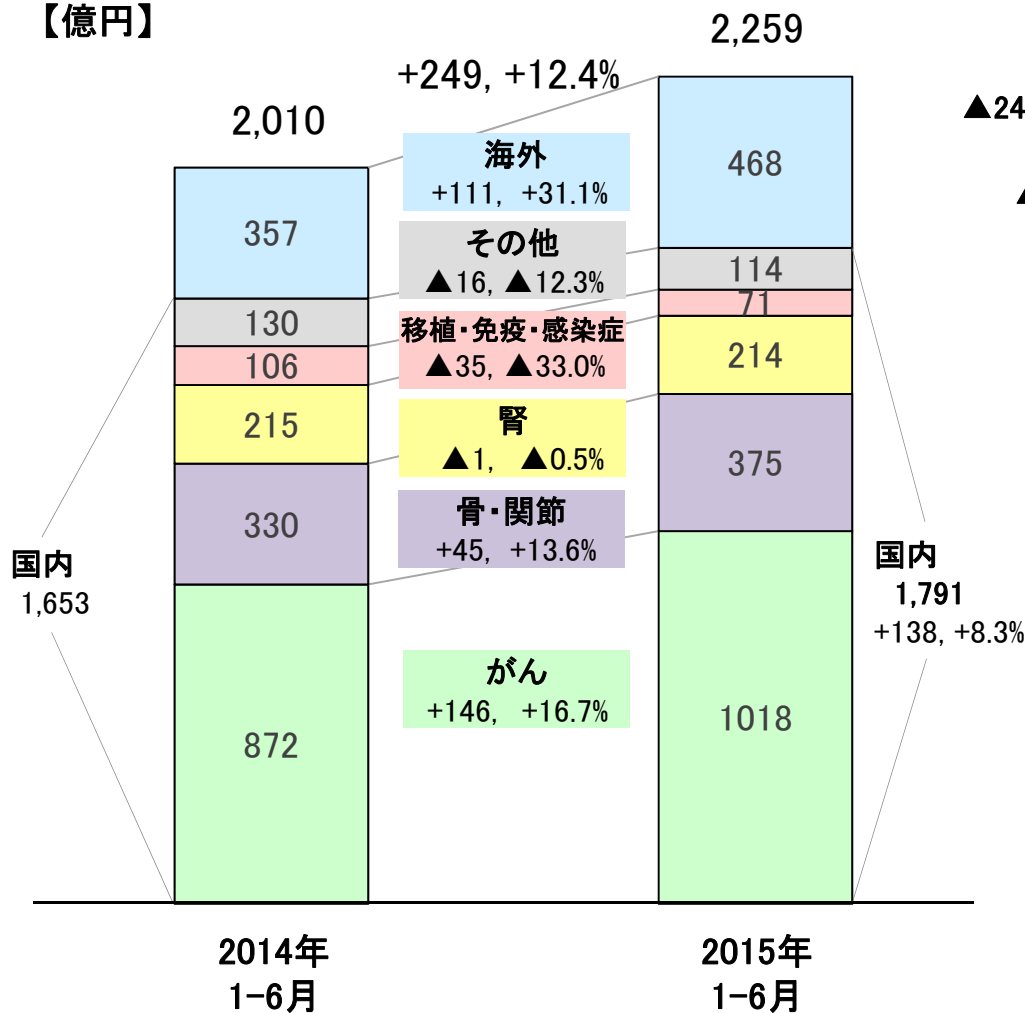
Roche ロシュグループ

製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-6月実績

領域別売上高の比較

主な製商品売上高の増減

【億円】



()内は2015年実績

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

タミフルの売上状況

【億円】	決算期売上														予想		
	2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期		2012年12月期		2013年12月期		2014年12月期		2015年12月期		シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月			
通常	2008-09	110														167	1.27
	2009-10		252	14												266	2.02
	2010-11				2	41										43	1.26
	2011-12						13	78								91	1.63
	2012-13								24	82						106	1.11
	2013-14										19	70				90	1.44
	2014-15												58	67		126	1.39
	2015-16													7		-	-
	通常	362 (+291)	16 (▲346)	54 (+38)	102 (+48)	101 (▲1)	129 (+28)	74 (▲55)									
行政備蓄等	2008-09	144														155	
	2009-10		256	106												362	
	2010-11				59	5										64	
	2011-12						28	4								32	
	2012-13								15	8						23	
	2013-14										1	1				2	
	2014-15												1	0		1	
	2015-16															-	
	行政備蓄等	400 (+387)	166 (▲234)	33 (▲133)	19 (▲14)	9 (▲10)	2 (▲7)	0 (▲2)									
合計		254	508	120	61	46	41	81	39	90	20	71	59	67	7		
		762 (+678)	182 (▲580)	87 (▲95)	120 (+33)	110 (▲10)	130 (+20)	74 (▲56)									

()内は前期比

- 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬(44週)から4月中旬(16週、2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数。

前年同期比 Core

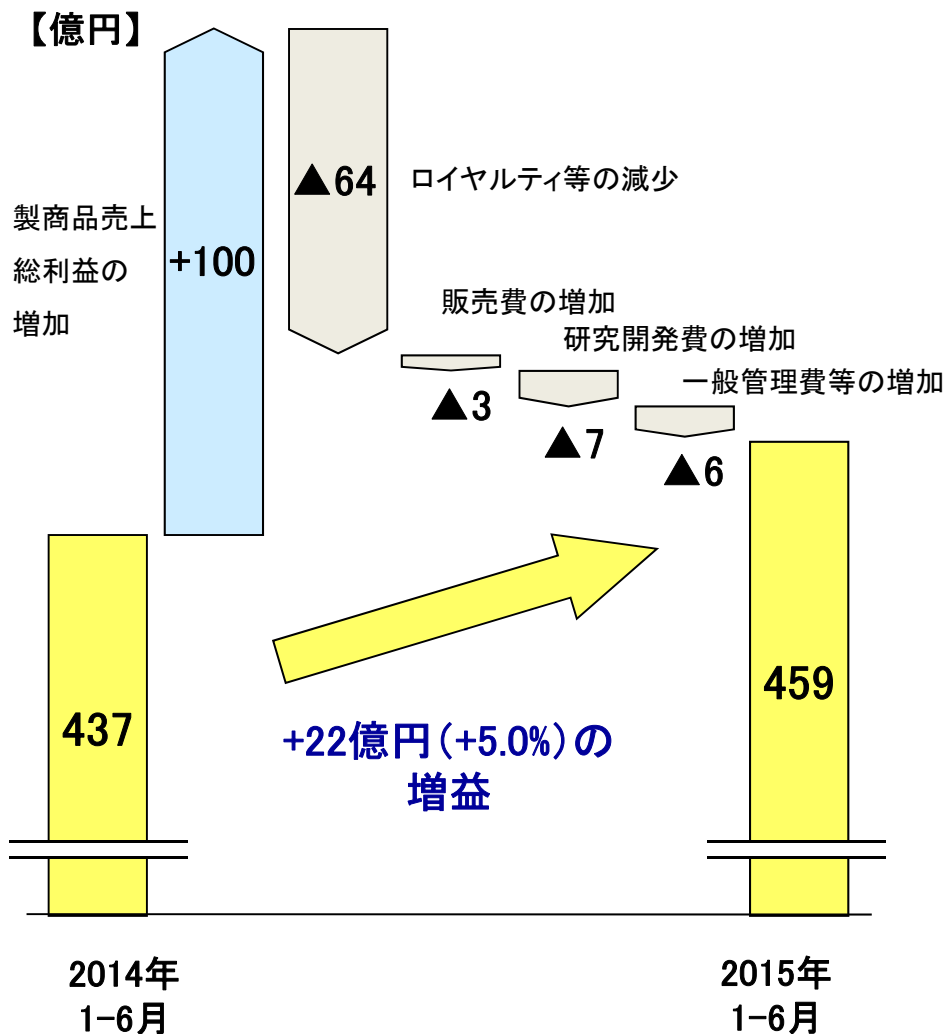
2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

営業利益の増減内訳 1-6月実績



【億円】	2014年 1-6月	2015年 1-6月	増減
売上収益	2,220	2,402	+182
売上原価	▲ 1,021	▲ 1,166	▲145
売上総利益	1,199	1,236	+37
うち製商品	1,061	1,161	+100
ロイヤルティ等	139	75	▲64
販売費	▲ 343	▲ 346	▲3
研究開発費	▲ 366	▲ 373	▲7
一般管理費等	▲ 52	▲ 58	▲6
営業利益	437	459	+22

製商品売上総利益の増加 主力品や新製品の順調な成長	+100億円
ロイヤルティ及びその他の営業収入の減少	▲64億円
販売費の増加	▲3億円
研究開発費の増加 円安影響 等	▲7億円
一般管理費等の増加 広報活動など諸経費の増加	▲6億円

前年同期比 Core

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

損益の概要 4-6月実績

【億円】	2014年4-6月		2015年4-6月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	980		1,231		+251	+25.6%
製商品売上高	939		1,192		+253	+26.9%
タミフルを除く	937		1,192		+255	+27.2%
国内	801		952		+151	+18.9%
ロシュ向け輸出	93		192		+99	+106.5%
その他海外	43		48		+5	+11.6%
タミフル	2		0		▲2	▲100.0%
通常	2		0		▲2	▲100.0%
行政備蓄等	-		-		-	-
ロイヤルティ及び その他の営業収入	41		39		▲2	▲4.9%
売上原価	▲468	47.8%	▲591	48.0%	▲123	+26.3%
売上総利益	511	52.1%	639	51.9%	+128	+25.0%
経費計	▲389	39.7%	▲395	32.1%	▲6	+1.5%
営業利益	123	12.6%	244	19.8%	+121	+98.4%
金融費用	0		▲0		0	-
その他の金融収入(支出)	1		2		+1	+100.0%
法人所得税	▲19		▲74		▲55	+289.5%
四半期利益	105	10.7%	172	14.0%	+67	+63.8%
EPS (円)	18.85		30.76		+11.91	+63.2%

【主な増減】

製商品売上総利益の増加	+130億円
製商品売上高の増加	
ロイヤルティ及びその他の営業収入の減少	▲2億円
経費計の増加	▲6億円
販売費の増加	▲3億円
研究開発費の増加	▲3億円
一般管理費等の増加	▲1億円

製商品原価率

2014年4-6月	2015年4-6月
49.8%	49.6%

予想比 Core

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

損益の進捗 1-6月実績

【億円】	実績		期初公表	2014年 進捗率*
	2015年 1-6月	2015年 1-12月	進捗率	
売上収益	2,402	4,865	49.4%	48.1%
製商品売上高	2,326	4,608	50.5%	47.6%
タミフルを除く	2,259	4,534	49.8%	47.4%
国内	1,791	3,609	49.6%	47.3%
ロシュ向け輸出	372	747	49.8%	47.7%
その他海外	96	178	53.9%	49.2%
タミフル	67	74	90.5%	54.6%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	75	256	29.3%	57.4%
売上原価	▲ 1,166	▲ 2,302	50.7%	47.1%
売上総利益	1,236	2,563	48.2%	49.1%
経費計	▲ 777	▲ 1,713	45.4%	45.7%
営業利益	459	850	54.0%	56.5%
EPS (円)	58.30	104.42	55.8%	56.5%

*1-6月実績の通期実績に対する進捗率

予想比 Core

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

製商品売上高の進捗(タミフルを除く) 1-6月実績

【億円】	実績		通期予想	2014年
	2015年 1-6月	2015年 1-12月	進捗率	進捗率 *1
タミフルを除く製商品売上高	2,259	4,534	49.8%	47.4%
国内	1,791	3,609	49.6%	47.3%
がん領域	1,018	2,045	49.8%	46.2%
アバステン	443	882	50.2%	46.4%
HER2フランチाइズ	243	483	50.3%	45.5%
ハーセプチン	158	296	53.4%	47.8%
パージェタ	50	99	50.5%	47.3%
カドサイラ	34	88	38.6%	25.0%
タルセバ	55	141	39.0%	48.7%
ゼローダ	53	100	53.0%	48.1%
アレセンサ	31	52	59.6%	-
ゼルボラフ *2	2	2	100.0%	-
骨・関節領域	375	759	49.4%	47.4%
アクテムラ	126	263	47.9%	46.5%
エディロール	106	212	50.0%	45.3%
ボンビバ	24	49	49.0%	38.2%
腎領域	214	443	48.3%	48.1%
ミルセラ	110	245	44.9%	47.8%
エボジン	29	52	55.8%	50.0%
移植・免疫・感染症領域	71	130	54.6%	51.0%
ペガシス	13	21	61.9%	52.9%
コペガス	6	11	54.5%	54.8%
その他の領域	114	232	49.1%	50.8%
海外	468	925	50.6%	48.0%
ロシュ向け輸出	372	747	49.8%	47.7%
その他海外	96	178	53.9%	49.2%

*1 1-6月実績の通期実績に対する進捗率。

*2 ゼルボラフの予想値は4月22日公表。2015年通期予想に対する進捗率100%は億円未満を四捨五入した関係であり、実質は6割強の進捗となっている。

予想比 Core

為替変動の影響について

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



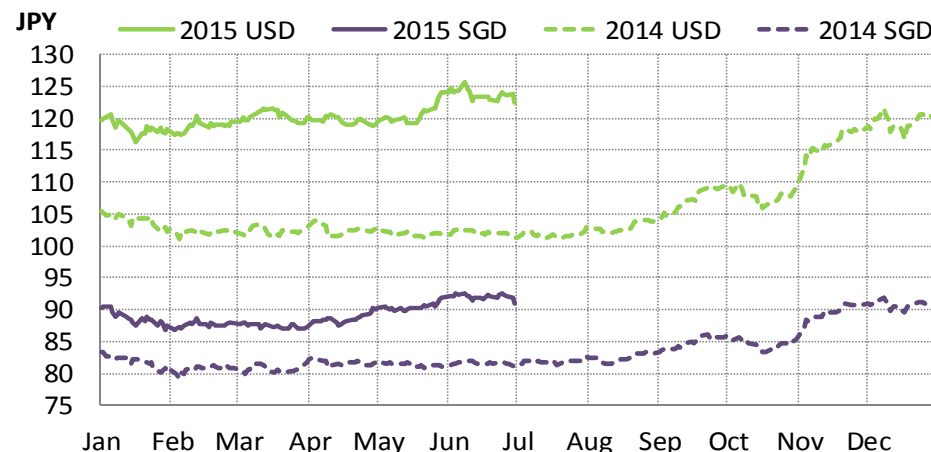
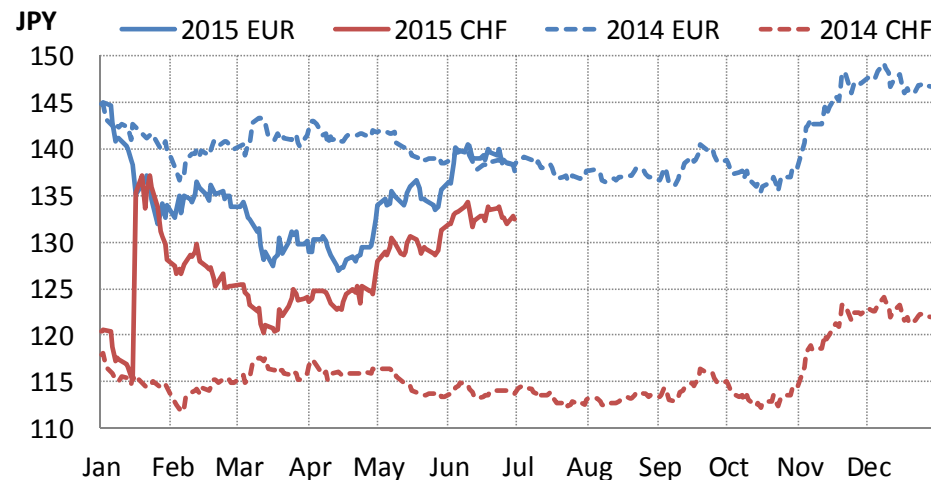
Roche ロシュ グループ

	1-6月利益影響 (期初想定レート対比)	
売上収益	+16億円	
	製商品売上高 ロイヤルティ等	+19億円 ▲3億円
売上原価・経費	売上原価 経費	▲9億円 +1億円
営業利益	+8億円	

実績/想定レート*	2014年 1-6月実績	期初予想 想定 (通期)	2015年 1-6月実績
1CHF	115.04円	116.00円	126.88円
1EUR	140.51円	142.00円	134.27円
1USD	102.49円	119.00円	120.24円
1SGD	81.29円	91.00円	89.10円

*実績は期中市場平均

【参考】為替レート推移



前期末比

財政状態の変化

＜資産、負債及び純資産の状況＞

【億円】	2014年 12月末	2015年 6月末	増減
営業債権	1,413	1,283	▲ 130
棚卸資産	1,396	1,459	+ 63
営業債務	▲ 354	▲ 434	▲ 80
その他の純運転資本*1	▲ 362	▲ 262	+ 100
純運転資本	2,094	2,046	▲ 48
有形固定資産	1,402	1,419	+ 17
無形資産	113	109	▲ 4
その他の長期純営業資産*2	▲ 32	▲ 21	+ 11
長期純営業資産	1,484	1,507	+ 23
純営業資産 (NOA)*3	3,577	3,553	▲ 24
有利子負債	▲ 2	▲ 2	0
有価証券	1,160	1,200	+ 40
現金及び現金同等物	1,140	1,266	+ 126
ネット現金	2,299	2,464	+ 165
その他の営業外純資産*4	102	117	+ 15
純営業外資産	2,400	2,582	+ 182
純資産合計	5,978	6,134	+ 156
純資産合計	5,978	6,134	+ 156
資産合計	7,395	7,443	+ 48
負債合計	▲ 1,418	▲ 1,309	+ 109

*1 例: 未収入金、未払金、未払費用等 *2 例: 長期前払費用、長期引当金等

*3 NOA: Net Operating Assets *4 例: 繰延税金資産、未払法人所得税等

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

【主な増減】

●純運転資本の減少	▲48億円
営業債権の減少	▲130億円
季節的な要因等	
棚卸資産の増加	+63億円
営業債務の増加	▲80億円
円安影響や仕入のタイミング等	
その他の純運転資本の増加	+100億円
未払費用の減少等	
●長期純営業資産の増加	+23億円
●ネット現金の増加	+165億円
●その他の営業外純資産の増加	+15億円
●当社の株主帰属持分比率(資本)	+1.7%ポイント
2015年6月末	82.3%
2014年12月末	80.6%

期末日レート

	2014年 12月末	2015年 6月末
1CHF	120.81円	132.49円
1EUR	145.26円	137.69円
1USD	119.48円	122.54円
1SGD	90.41円	91.03円

前期末比

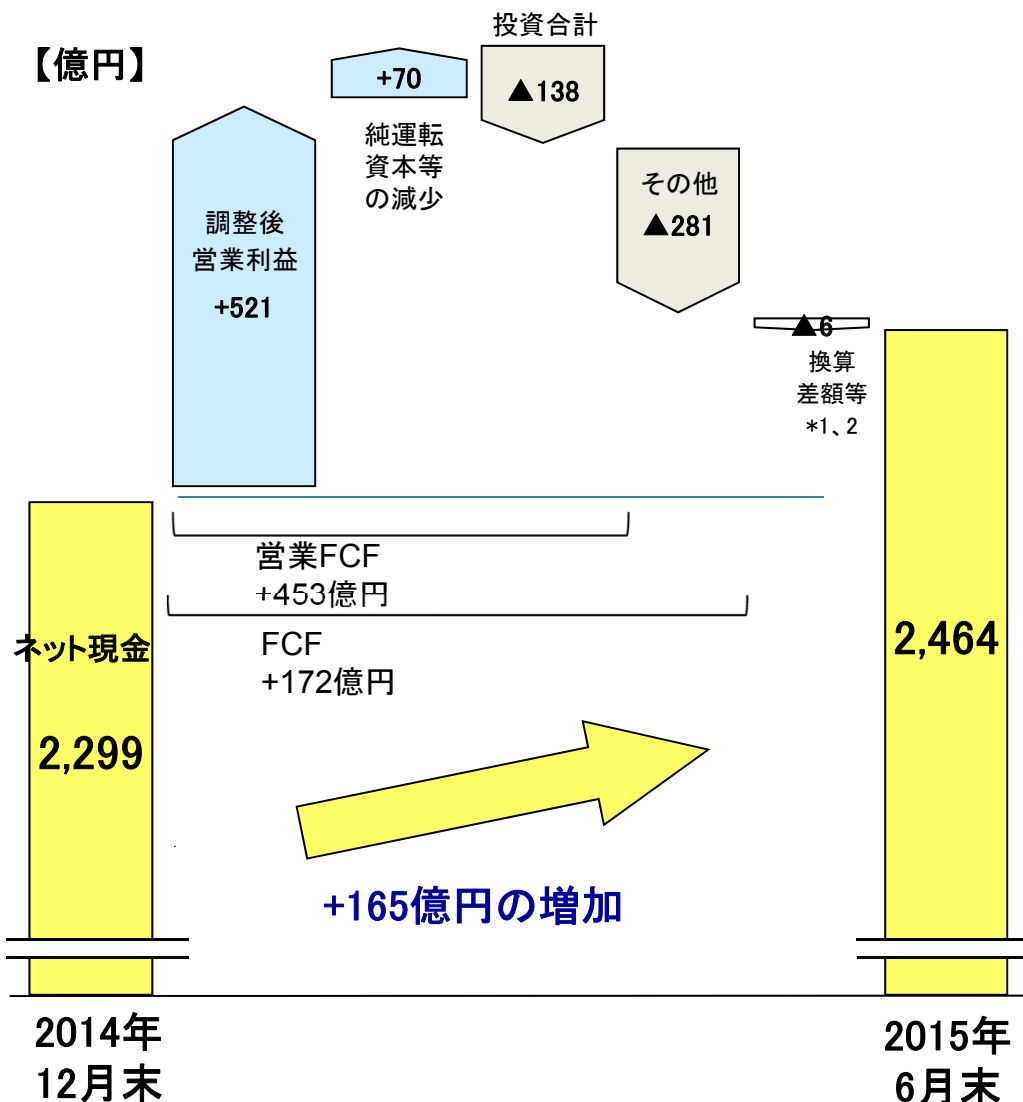
ネット現金の増減

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ



●調整後営業利益	+521億円	
営業利益	+432億円	
減価償却費等	+89億円	
●純運転資本等の減少	+70億円	
営業債権の減少	+130億円	
棚卸資産の増加	▲67億円	
営業債務の増加	+80億円	
その他の純運転資本等の変動	▲73億円	
●投資合計	▲138億円	
有形固定資産の取得による支出	▲109億円	
生産設備への投資に対する支払等		営業FCF
無形資産の取得による支出	▲29億円	+453億円
●その他	▲281億円	
支払法人所得税	▲160億円	FCF
支払配当金	▲148億円	+172億円

*1「換算差額等」=「自己株式の減少(増加)」+「ネット現金の換算差額等」[P14に記載]

*2在外子会社の財務諸表の換算レート(ネット現金:期末日レート/FCF:期中平均レート)の違いから発生(IAS第7号・IAS第21号を参考に、当社が定義) 13

前年同期比

2015年第2四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

フリー・キャッシュ・フローの概要 1-6月実績

【億円】	2014年 1-6月	2015年 1-6月	増減
営業利益	431	432	+ 1
有形固定資産の減価償却費及び減損損失	68	70	+ 2
無形資産の償却費及び減損損失	6	26	+ 20
営業利益へのその他の調整	14	▲ 7	▲ 21
調整後営業利益	519	521	+ 2
営業債権の減少(増加)	45	130	+ 85
棚卸資産の減少(増加)	▲ 143	▲ 67	+ 76
営業債務の増加(減少)	70	80	+ 10
その他の純運転資本等の変動	▲ 28	▲ 73	▲ 45
純運転資本等の減少(増加)	▲ 56	70	+ 126
有形固定資産の取得による支出	▲ 92	▲ 109	▲ 17
無形資産の取得による支出	▲ 13	▲ 29	▲ 16
投資合計	▲ 105	▲ 138	▲ 33
営業フリー・キャッシュ・フロー	358	453	+ 95
売上収益比率(%)	16.1%	18.9%	+ 2.8%pts
財務管理(受取/支払利息、為替差損益など)	4	26	+ 22
支払法人所得税	▲ 133	▲ 160	▲ 27
支払配当金	▲ 129	▲ 148	▲ 19
フリー・キャッシュ・フロー	100	172	+ 72
自己株式の減少(増加)	5	8	+ 3
ネット現金の換算差額等*2	▲ 13	▲ 14	▲ 1
ネット現金の純増減	92	165	+ 73

【主な増減】

●調整後営業利益	+2億円
●純運転資本等の増減	+126億円
営業債権の増減	+85億円
前期末の前倒入金の影響等	
棚卸資産の増減	+76億円
営業債務の増減	+10億円
その他の純運転資本等の変動	▲45億円
●投資合計	▲33億円
●営業フリー・キャッシュ・フロー	+95億円
前同に、営業債権の一部前倒入金という特殊要因があり、当期営業FCFは増加	
●売上収益比率	+2.8%ポイント
売上収益	+182億円

期中平均レート

	2014年 1-6月	2015年 1-6月
1CHF	115.04円	126.88円
1EUR	140.51円	134.27円
1USD	102.49円	120.24円
1SGD	81.29円	89.10円

*1 「換算差額等[P13に記載]」=「自己株式の減少(増加)」+「ネット現金の換算差額等」

*2 在外子会社の財務諸表の換算レート(ネット現金:期末日レート/FCF:期中平均レート)の違いから発生(IAS第7号・IAS第21号を参考に、当社が定義)

開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員
田中 裕

2015.7.23/24

オンコロジー領域 開発パイプライン(2015年7月23日現在)

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	<p>CKI27 / RG7304 (国内/海外) -固形がん</p> <p>RG7596 / polatuzumab vedotin -非ホジキンリンパ腫</p> <p>RG7604 / taselisib -固形がん</p> <p>RG7440 / ipatasertib -固形がん★</p>	<p>AF802 (RG7853) / Alecensa (海外) -非小細胞肺がん(2L) ★</p> <p>RG435 / Avastin -子宮頸がん</p> <p>GC33 / RG7686 -肝がん</p>	<p>AF802 (RG7853) / Alecensa (海外) -非小細胞肺がん(1L) ★</p> <p>RG1273 / Perjeta -乳がん(アジュバント) -胃がん</p> <p>RG3502 / Kadcylla -乳がん(アジュバント) -胃がん (PII/III)</p> <p>GA101 (RG7159) / obinutuzumab -中高悪性度非ホジキンリンパ腫 -低悪性度非ホジキンリンパ腫</p> <p>RG7446 / atezolizumab -非小細胞肺がん -膀胱がん -腎細胞がん★</p> <p>RG435 / Avastin -腎細胞がん★</p>	<p>RG340 / Xeloda -胃がん(アジュバント)</p>

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ: 自社品

★: 2015/4/22からの変更点

プライマリー領域 開発パイプライン(2015年7月23日現在)

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
骨・関節				RG484 / Bonviva (経口) -骨粗鬆症
自己免疫疾患		MRA / Actemra (海外) -全身性強皮症	MRA / Actemra -大型血管炎 -巨細胞性動脈炎 (海外) SA237 -視神経脊髄炎★	
中枢神経	RG1577 / sembragiline -アルツハイマー病 RG1662 -ダウン症者における 知的能力の改善	RG7090 / basimglurant -大うつ病	RG1450 / gantenerumab -アルツハイマー病	
その他	PCO371 (海外) -副甲状腺機能低下症★	RG3637 / lebrikizumab -特発性肺線維症 CIM331 -アトピー性皮膚炎★ URC102 (韓国) -痛風 ACE910 / RG6013 -血友病A (PI/II)	RG3637 / lebrikizumab -気管支喘息	

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ: 自社品

★: 2015/4/22からの変更点

★: 中外主導の国際共同治験



開発の状況

導入品

RG7446 / atezolizumab (改変型抗PD-L1抗体)

RG435 / アバスチン®

腎細胞がん

2015年6月 国際共同P3開始

導入品

RG7440 / ipatasertib

固形がん

2015年6月 P1開始

自社品

PCO371

副甲状腺機能低下症

2015年6月 P1開始 (米国)

導入品

RG7321 / pictilisib

固形がん 開始中止



その他の進捗

自社品

MRA / アクテムラ®

全身性強皮症

2015年6月 米国FDAがBreakthrough Therapy指定(ロシュ社)
国際共同P3への参加を決定(中外)

自社品

ACE910

血友病A

2015年 インヒビター患者での国際共同P3開始予定
2016年 非インヒビター患者での国際共同P3開始予定

導入品

netupitant-palonosetron配合剤 (NEPA) / Akynzeo®

がん化学療法にともなう悪心嘔吐の予防

2015年6月 EMA承認取得(Helsinn社)

導入品

ペレチノイン

肝細胞がん再発抑制

2015年7月 興和(株)より国内における独占的販売権を取得

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

主な学会発表：AF802/アレセンサ®

自社品

2015年6月：ALK 陽性非小細胞肺癌を対象としたP1/2試験成績をAmerican Society of Clinical Oncologyにて発表

	海外P1/2 * (グローバル)	海外P1/2 * (北米)	国内P1/2
奏効率	50%	47.8%	93.5%
脳転移の奏効率	57.1%	68.8%	-
PFS中央値	8.9カ月	6.3カ月	29カ月以上
安全性	これまでと同様の安全性プロファイル		

* Crizotinib投与後に病勢進行の認められた患者さんを対象

主な学会発表: ACE910

自社品

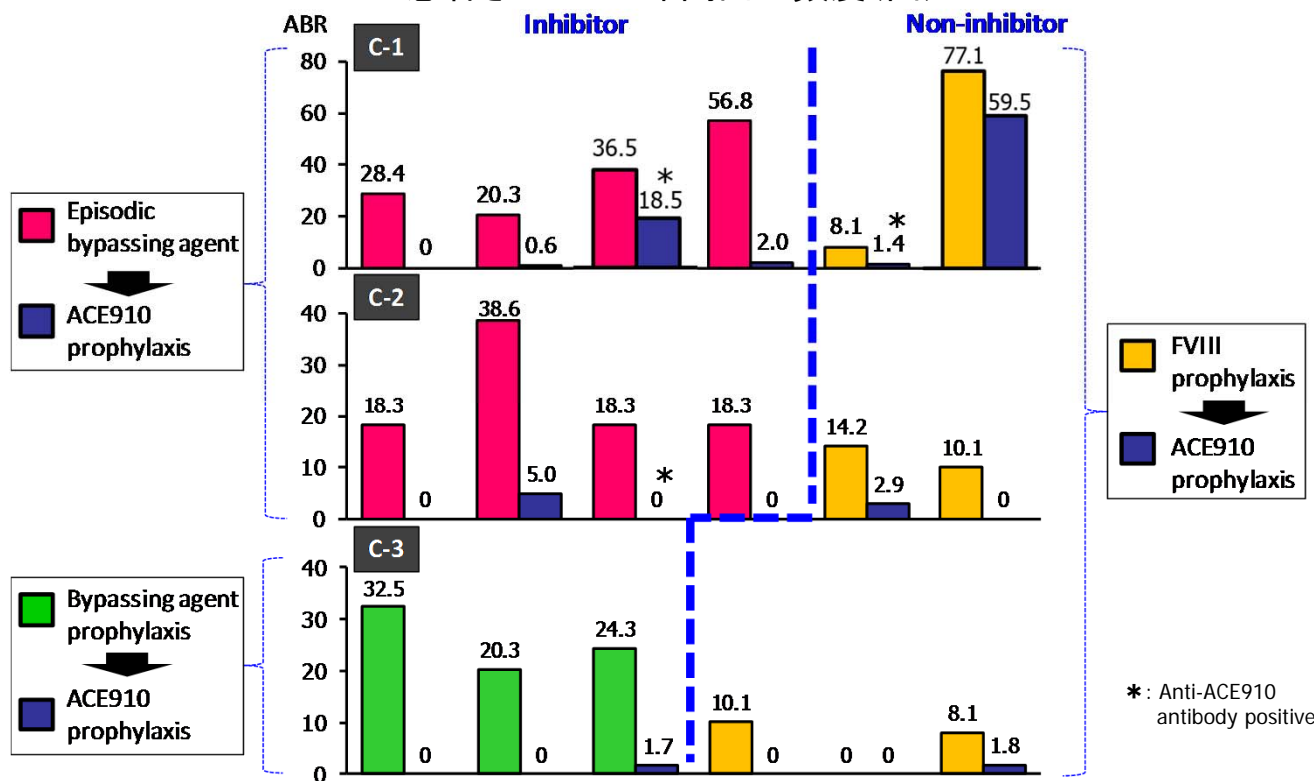
2015年6月: 血友病Aに対する国内P1/2試験成績(長期投与時)を International Society on Thrombosis and Haemostasisにて発表

- 週1回、5.6~18.5カ月の皮下投与で良好な忍容性
- インヒビターの有無に関わらず良好な出血抑制効果(下図)
- 抗ACE910抗体が3例で発現したがPK/PDに影響なし
- 増量を行った被験者で用量依存的な効果を確認



Roche ロシュグループ

患者さんごとの年間出血頻度(回)



*: Anti-ACE910 antibody positive

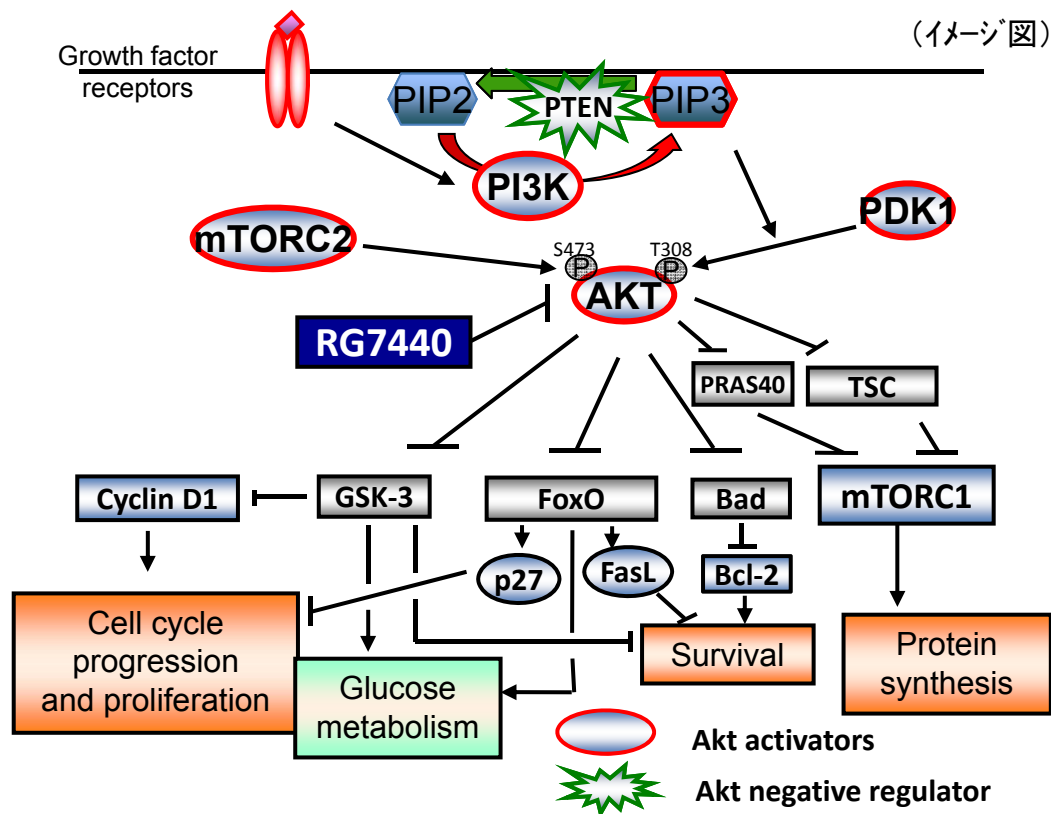
開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

RG7440 (AKT阻害剤) と作用機序



出典: Genentech社内資料 (一部改編)

PI3K: Phosphoinositide 3-kinase
 AKT (PKB): Protein kinase B
 mTOR: mammalian target of rapamycin

- AKTは、PI3K-AKT-mTOR経路を通じて受容体のシグナルを細胞内へ伝達
- ヒトの悪性腫瘍で高頻度に活性化され、腫瘍の増殖や治療抵抗性に寄与¹⁾
- RG7440は、AKTを強力かつ選択的に阻害する新規の低分子抗悪性腫瘍薬
- 活性化したAKTのみをATP競合的に阻害し、幅広い治療域が期待される

1) Bellacosa et al. 2005; Manning and Cantley 2007; Jiang and Liu 2008; Tokunaga et al. 2008; Robey and Hay 2009



未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況

- 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
 - 第I回開発要請の8製品10適応症(用法・用量の追加を含む)はすべて承認済み
 - 第II回開発要請は3製品3適応症のうち、2製品2適応は承認済み

開発要請	製品	適応症	現在の開発状況
第II回要望 開発要請品	セルセプト	ループス腎炎	公知申請に該当

- 第III回開発要望品 1製品1適応に開発要請

開発要請	製品	適応症	現在の開発状況
第III回要望 開発要請品	タミフル	新生児・乳児の用法・ 用量追加	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち

赤字:2015/1/28からの変更点

開発パイプラインの状況

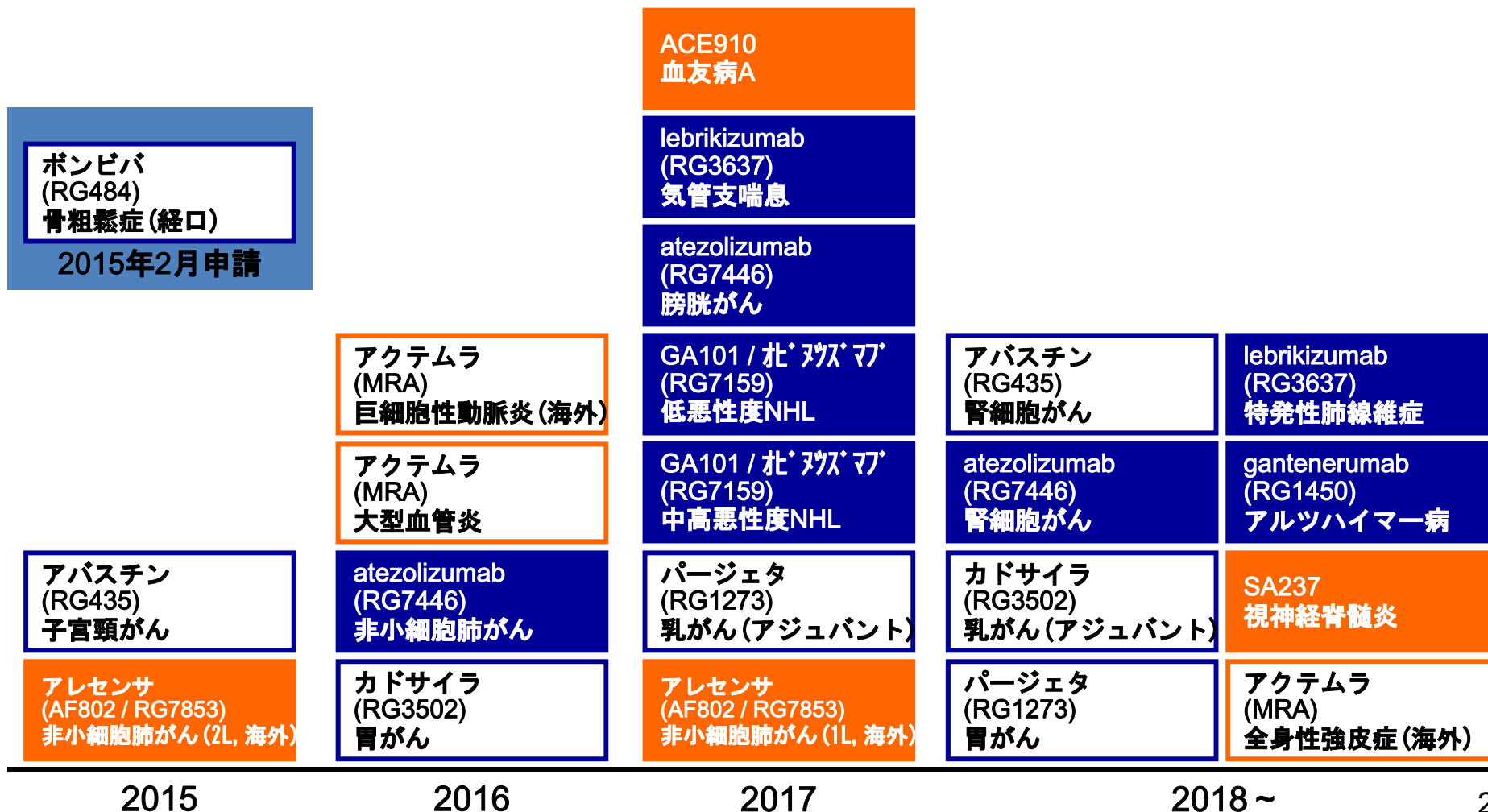
すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

今後の申請予定 (PoC取得済開発品・製品)

- 引き続き毎年、新製品/適応拡大等を申請予定



中外製薬に関する情報はウェブサイトからもご覧になれます

中外製薬ウェブサイト:

<http://www.chugai-pharm.co.jp/>

会社の情報(ミッション,研究開発,社会貢献等):

<http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/index.html>

IR情報:

<http://www.chugai-pharm.co.jp/ir/>

動画・広告ライブラリー:

<http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/ad/index.html>

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：
メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：原田、荒木、吉村、三義

投資家の皆様：
インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：笹井、櫻井、清水、時田